



## <取材のお願い>

2024年11月25日

大分大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

### タイの高校生が大分大学医学部で最先端の医療技術を体験

#### ～大分舞鶴高校では日本の生徒と科学技術交流～

大分大学医学部では、12月2日（月）～12月8日（日）、タイより高校生13名、教員1名、計14名を招へいし（うち6名は自費による招へい）、「タイの科学技術の未来を担う『ホープ』との医療を通じた科学技術交流」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。

今回来日するのは、タイ全土に13校あるサイエンス・スクール（プリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール（PCSHS）12校、マヒドン・ウィッタヤンソーン・スクール）各校から1名ずつ選ばれた、学業優秀な生徒たちです。

タイでは科学技術の未来を担う人材育成のため、タイ全土に国主導でサイエンス・スクールを設置し、高度な教育を行っています。そして、タイ教育省はこれらの生徒をタイの「ホープ」と位置づけ、大きな期待を寄せています。

本プログラムの目的は、タイの「ホープ」である生徒たちが、日本の先端的医療を見学・体験したり、日本の高校生と科学技術交流したりすることで、将来を担う日タイの若者の交流を促進することです。

具体的には講義のほか、大分大学医学部附属病院（由布市）を訪問し、救命救急センター、ドクターヘリ、検査部など、本邦の高水準の医療システムと医療技術を見学します。さらに、体験型学習として、大分大学医学部の現役医師の指導により、スキルラボセンターにてシミュレーターを用いた腹腔鏡手術実習、外科糸結び、腸管縫合実習、内視鏡シミュレーター体験等を行います。そして、最新の医学研究に触れるために研究室を訪問し、留学生から日本で学ぶことの意義や魅力を紹介してもらい、研究の一部を体験します。

また、株式会社南日本造船・大分工場（大分市）を見学し、ものづくりの応用技術を学びます。そして、12月5日と12月7日は大分県立大分舞鶴高等学校（大分市、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定校）を訪問し、在校生との交流や研究発表を行います。

本プログラムをきっかけに、日タイの生徒の交流が深化するだけでなく、将来の共同研究や国際頭脳循環が期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」\*に採択されたものです。

\*「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログ



ラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、タイの生徒が医療用シミュレーション機器を体験する様子、最先端の研究施設を見学する様子、日本の高校生と共に研究発表をする様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の猪股雅史医学部長のインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●講義 ●病院見学 ●医療用シミュレーション機器体験 ●研究室訪問  
●意見交換会 ●工場見学 ●日本の高校生との研究発表 ●日本文化体験

【実施場所】 大分大学医学部（挾間キャンパス）、大分県立大分舞鶴高等学校ほか

【研修日程概要】

12月2日（月）	午前：来日、宇佐神宮見学など（大分県宇佐市） 午後：参加者自己紹介、スケジュール説明、オリエンテーション（大分市内）
12月3日（火）	午前：大分大学医学部附属病院見学、医学部長表敬訪問（大分大学医学部） 午後：医療用シミュレーション機器体験。外科系結び、腸管縫合実習、内視鏡シミュレーター体験（同大学医学部スキルスラボセンター）
12月4日（水）	午前：医学セミナー①「アジアのピロリ菌感染について（講義、顕微鏡実習）」 医学セミナー②「最先端の研究室訪問見学」（大分大学医学部） 午後：医学部生との交流会、留学生および医学部生との意見交換会（同上）
12月5日（木）	午前：大分舞鶴高校訪問。在校生と一緒に授業を受ける 午後：日タイ・サイエンスプロジェクト交流。日タイの高校生が研究発表を英語で行う。大分舞鶴高生の研究の様子を見学（大分舞鶴高校）
12月6日（金）	午前：南日本造船・大分工場見学。ものづくりの応用技術を学ぶ（大分市） 午後：日本文化見学・体験（大分市内）
12月7日（土）	終日：大分舞鶴高生との学外交流。研究発表、文化交流（別府市内、大分市内）
12月8日（日）	午前：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

大分大学 医学・病院事務部学務課  
（担当：獅々賀（ししが））

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室  
[https://form2.jst.go.jp/s/kouhou\\_form](https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form)（担当：太田）